

エクセルジョイント 施工手順<既設・新設マンホール>

1. 事前準備品

ウエス、ラチェットレンチまたはドライバー、
カッターまたはハサミ、
急結モルタル、流動性モルタル

2. 清掃

取付管のゴミ・土等の付着物をウエス等で除去する。

3. エクセルジョイントの位置決め

取付管長さより、本体及びバックアップ材Bの取付順位、
本体の取付方向等を決定し、取付位置を確認する。
注記) 取付位置に関しては、技術資料9の施工上の注意事項
を参照下さい。

4. バックアップ材A・Bのカット

位置決めによって不要となるスポンジゴム部をカッター、
ハサミ等でカットする。

5. バックアップ材B取り付け

バックアップ材Bをエントラスパッキンに被せる（あるいは
バックアップ材Bを外壁に突き当てる）必要に応じて、
ブチル粘着材で仮止めする。 1

6. 本体取り付け

位置決めにて確認した方向でエクセルジョイント本体を所
定の位置にセットし、ホースバンドをラチェットレンチ、
又はドライバーで締め付ける。 2 3

7. 内壁形成

内壁を急結モルタルやベニア板等で形成し、充填するコン
クリートが漏れない様にする。最上部に空気抜き穴を開け
ておく。 4 5

8. コンクリート充填

流動性のある急結モルタルを充填する。 5
注記) モルタルに巣が発生しないよう注意して下さい。

9. モルタル仕上げ

最後にマンホール内壁をモルタル仕上げする。 6

注記) 右図施工写真は、既設マンホール施工写真



図1. バックアップ材B取付状況



図2. エクセルジョイント本体取付状況



図3. エクセルジョイント取付完了



図4. 内壁形成状況



図5. 急結モルタル打設状況



図6. モルタル仕上げ

エクセルジョイント 施工手順<現場打ちマンホール>

1. 事前準備品

ウエス、ラチェットレンチ、またはドライバー、
カッターまたはハサミ

2. 清掃

取付管のゴミ・土等の付着物をウエス等で除去する。 1



図1. 清掃

3. エクセルジョイントの位置決め

取付管の長さより、本体及びバックアップ材Bの取付位置、
本体の取付方向等を決定し、取付位置を確認する。

注記) 取付位置に関しては、技術資料9の施工上の注意事項
を参照下さい。



図2. エクセルジョイント本体取付状況

4. バックアップ材A・Bのカット

位置決めによって不要となるスポンジゴム部をカッター、
ハサミ等でカットする。マンホール内側のカットは、取付
後でも可で、モルタル仕上げしろ確保のため、塩ビ管の端
部より10～20mm短くする。



図3. エクセルジョイント取付完了

5. バックアップ材B取り付け

バックアップ材Bをエントラスパッキンに被せる（あるいは
バックアップ材Bを外壁に突き当てる）必要に応じ、ブ
チル粘着材で仮止めする。 2 3



図4. 内壁型枠設置状況

6. 本体取り付け

位置決めにて確認した方向でエクセルジョイント本体を所
定の位置にセットし、ホースバンドをラチェットレンチ、
又はドライバーで締め付ける。 2

7. 内壁型枠設置

内壁型枠を所定に位置に設置し、固定する。 4

8. コンクリート打設

コンクリート打設時は、バイブレーター等を使用し、コン
クリートに巣が発生しないよう打設する。 5 6



図5. モルタル打設状況(1)

9. モルタル仕上げ

最後にマンホール内壁をモルタル仕上げする。



図6. モルタル打設状況(2)